

【 臨床研究に関する情報の公開 】

大腿骨頸部骨折で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願いについて

項 目	内 容
1. 研究課題名	入院時の身体機能は退院時の歩行レベルの推測に有用か
2. 研究の対象者	令和2年4月1日から令和3年3月31日の間に、大腿骨頸部骨折の診断で当院回復期リハビリテーション病棟に入院された方
3. 研究期間	令和3年8月12日 ～ 令和3年11月15日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション科技師 井上 勝也 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	本研究の目的は、回復期リハビリテーション病棟にてリハビリテーションを行った、大腿骨頸部骨折患者様の下肢筋力と歩行能力との関連性を調査することです。また、研究結果を参考に、有効なリハビリテーションの介入方法を検討することです。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。診療録（カルテ）より身体機能評価や画像検査、生理検査などを情報収集し、それらの結果を用いて下肢筋力と歩行能力との関連性を調査します。個人の特定が可能な情報は解析に用いません。特に患者様に新たにご負担頂くことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	診断名、年齢、性別、入棟時および退棟時の握力、大腿部と下腿部の周径、膝伸展筋力、10m歩行時間、Timed up and go test、Functional balance scale
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データ廃棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 井上 勝也
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション科 井上 勝也 電話：06-6458-5821（代表）